



わよん
ハウス

支援プログラム

作成日：令和8年2月13日

『法人理念』



70年以上の保育のノウハウを活かし、型にはまらない柔軟な視点で子ども達の可能性を最大限に引き出し、一人ひとりが「心」から楽しいと思える場所にしたいと考えます。



『支援方針』

くれよんハウスでは、いろいろな色を持つ子ども達が一緒に楽しみながら、自分らしく過ごせるよう個別と集団両方の活動で一人ひとりに合わせた支援を行い、小学校就学に向けての土台作りを行います。



療育の支援内容

○着替え (健康・生活)



- ・朝の準備(制服から体操服へ)と帰りの準備(体操服から制服へ)を職員と一緒にを行います。
- ・着脱の練習をしたあと、脱いだ服をすべて畳んで鞆の中に入れて練習をします。

○整容 (健康・生活)

- ・自分で歯を磨く練習、うがいの練習をします。
- ・手洗い練習や口周りなどの汚れを拭きとる、鼻をかむ練習なども行います。



○トイレトレーニング (健康・生活)

- ・おまる、補助便座、立位での練習(男の子)などそれぞれのペースに合わせて練習しています。



○机上遊び (人間関係・社会性)

- ・挨拶からはじまり、これから実施する遊びの流れを確認し、見通しを持って楽しく活動に取り組めるように促します。
- ・みんなでルールのある遊びをしてお友達とのやり取り(順番やルール遊びの楽しさ)を経験します。
- ・積み木やブロックなどを使用した空間認知学習、ひらがなや数字の理解、文章の音読など就学に向けての学習支援を行います。今後の集団生活をスムーズに過ごせるように着席時間の延長などの練習もします。



○ソーシャルスキルトレーニング (人間関係・社会性)

- ・ままごと遊び、場面絵カードなどを使用し様々な場面を想定して、社会で人と関わる中で必要なスキルを身につけられるようにトレーニングを行います。



○会話・ことば遊び (言語・コミュニケーション)

★言語聴覚士による指導(個別指導や集団療育での指導)も随時おこなっております。

- ・話す、聞く、読む、書くなどの言語や認知に関する力の向上を図ります。
- ・語彙の増加を助ける事で理解力と表出能力の向上を図ります。
- ・自分の気持ちを言葉で上手く伝える練習や、発音の練習を行います。
- ・今日のできごとや楽しかったことを思い出すことで、記憶の定着や次回への意欲へと繋げていきます。



○室内遊び・・・・・・・・・・・・・・・・（認知・行動）

★言語聴覚士(認知)・作業療法士(行動)による指導も随時おこなっております。

- ・創作活動(粘土、ハサミで切る、手でちぎる、のりで貼る、鉛筆持ちなど)、糸通しや蓋を回して付け外しする、スプーンやお箸の持ち方の段階に合わせた活動を提供します。
- ・名前呼び・手遊び・ふれあい遊び・リズム遊び・読み聞かせ・ビジョントレーニングを行います。
- ・ままごと、ミニカー、塗り絵、パズルなどその子に合った好きな遊びを通して認知能力の向上を図ります。
- ・室内でマット運動・トランポリン・平均台などでボディイメージが付きやすくなるような粗大運動も行っています。



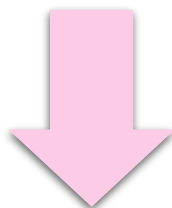
○お外遊び・・・・・・・・・・・・・・・・（運動・感覚）

★作業療法士による指導(個別指導や集団療育での指導)を随時おこなっております。

- ・季節感も味わえるように園庭や屋上でお子様一人ひとりに合わせて、さまざまな運動プログラムでトレーニングを行います。
- ・ボールや紙飛行機を使った追視練習、バランスゲーム体幹トレーニング
- ・身体操作の向上だけでなく、楽しく身体を動かして集中力や意欲の向上を図ります。
- ・スモールステップで成功体験を積み重ねていきます。



※それぞれのお子さまにより目標や支援方法が異なりますので、上記の内容を全て実施するということではありません。頻度や内容等はその都度ご相談させていただきます。



○フィードバック(家族支援)

療育終了後、連絡帳にて本日のお子様の様子や活動内容を保護者の方にお伝えし、必要に応じて面談を実施し、情報共有を行います。



【主な行事】

園の行事に従います。

【職員の質の向上】

外部・内部研修を行い知識やスキルの向上を図ります。

※営業時間は
10～16時です。
※送迎は行って
おりません。

健康・生活



- ・自分の体の状態を知れるようにする
- ・健康状態の維持や改善に必要なスキルを学ぶ(体調に合わせた服装など)
- ・生活習慣の形成や身辺自立を促す(食事、排泄、着替え、手洗いなど)



認知・行動



- ・視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用した活動(ビジョントレーニング、ダンスなど)を取り入れ認知の発達を促す
- ・自分で選択したり、考えたりしながら行動する力を育めるように促す



人間関係・社会性

- ・集団活動を通して、ルールやマナーの理解、集団や社会への参加を促す
- ・活動や遊びの中で他者との関わり、距離感など、人間関係を築くために必要なスキルを学ぶ

5領域の

支援プログラム

言語・コミュニケーション

- ・言語、非言語コミュニケーション(ジェスチャーなど)を用いて、他者とのやりとりを楽しみ、適切なコミュニケーションができるように支援する
- ・他者との関わりの中で、言語の習得や語彙数の増加を促す



運動・感覚

- ・体操、サーキット、公園での活動を通して、基礎体力・運動能力の向上を図る
- ・視覚や聴覚、触覚など好きな感覚を刺激できるような活動を行う
- ・感覚の過敏性に対してのその子に合ったアプローチの仕方を見つける



事業所



小学校



必要に応じて
小学校と連携します。

保育園・こども園 (移行支援)



園や関係機関と連携し、支援の方法の統一などよりよい支援が行えるようにします。

インクルージョン

事業所は、利用児童が地域の保育、教育等の支援を受けることができるようにすることで、障がいの有無にかかわらず、全ての児童が共に成長できるよう、地域社会への参加・包摂(インクルージョン)の推進に努めることとなりました。

地域資源 (地域支援・連携)

